

# 『税金に夢と希望をのせて』

練馬区立大泉西中学校

二学年 鈴木 麻祐子

二〇二〇年。東京にオリンピックがやっています。世界中の人々が楽しみにしているであろう、四年に一度のスポーツの祭典。もちろん私もこの大会を心待ちにしている一人です。来年の今頃には東京が人々の熱気と感動で包まれているだろうと思うと、今から胸が躍ります。ですが、この大会に税金が使われているということを知りたいどのくらいの人が知っているでしょうか。

私たちが納めている税金には消費税や所得税、住民税などがあり、実に四十七種類あるそうです。これらの使い道としては、年金や医療費といった社会保障費、公共サービスに使われる地方交付税交付金や公共事業費などがあります。そして、私たちが納めた税金の中からいくらかが東京五輪に割り当てられているのです。開催費用としては三兆円を超える可能性もあるとも言われており、一部では二〇二〇年にオリンピックで、二〇二五年に大阪万博決定でまた税金がかかる。」「我々の税金の使い道が不透明すぎ

ます。」など非難の声もあがっているようです。実際には私たちの納めた税金は有明アリーナなどの競技場の建設などに使われています。多額の税金が東京二〇二〇大会に費やされているようですが、それも選手の輝く姿を見るため、それを見た私たちが元氣と勇気をもたらして楽しむため、多くの子供達の未来に夢と希望を持たせるために税金が使われているのです。

税金が役に立っている場面はまだありません。私には下に三人の妹、弟がいます。毎日、喧嘩をしながらも仲良く暮らしています。六人家族という状態でありながら私達が不自由なく過ごせる理由の一つには児童手当という制度があります。これは十五歳以下の子供がいる家庭に対して一人ずつに給付金が支給されるというものです。よって、私の家族の場合は四人分の給付金が支給されています。両親もこの制度にとても助かっていますと話していました。さらに、年収にもよりますが、国では二〇一〇年より就学支

援金が、東京都では授業料軽減助成金を合わせ、二〇一七年度から私立高校授業料の実質無償化を始めています。これに対しても頻繁に両親は子供が多いからありがたいと言っていました。授業料の高い私立高校にも行きやすくなるので子供達の行き先が広がり、受験生の私にとっても嬉しい限りです。

東京五輪に児童手当、私立無償化。これらに共通すること、それは税金の恩恵だということです。今までの私は税金について気にもとめませんでした。調べてみて高い暮らしが送れるのは税金に守られているからだと感じ、その恵みを受けていると思うと、ありがたく思います。今は恩恵を受けている身ですが、将来、子供達に税金のありがたさを伝えられる大人に。日本を担う立場になった時に税に寄り添いながら、快く納税できる大人に。そういう人に私はなりたいと思います。